

令和4年1月18日

広島県知事  
湯崎 英彦 殿

新型コロナウイルスに係る緊急要望並びに令和4年度  
予算要望について

公明党広島県議会議員団  
団長 栗原 俊二

新型コロナウイルス感染症が全国で再拡大しており、従来株と比べて感染力が強い「オミクロン株」の影響により、感染拡大の勢いは過去に例を見ないものとなっている。

特に本県では、人口10万人当たりの感染者数が全国で沖縄県に次いで多い状況であり、医療や保健所業務のひっ迫につながる危機的な段階に突入しつつある。また、感染者と濃厚接触者の急増により、各種事業活動がままならなくなり、社会が機能不全に陥る懸念まで生じている。

県におかれては、この危機感を県民と共有し、国や市町と一体となって、早急に予防、検査、早期治療の体制を強化するとともに、社会機能の維持に全力で取り組む必要がある。

また、令和4年度当初予算においても、引き続き新型コロナウイルス感染症への総合的な対策を講じ、県民の生命と生活を守るとともに、疲弊する県内経済の確実な回復に向けて取り組むことが求められる。

今回、我々、公明党広島県議会議員団は、喫緊に対応すべき項目と主要事業予算要求項目を次のとおりまとめ、既に提出済みの要望書と併せ、我が会派の緊急要望、並びに令和4年度当初予算に対する要望として提出するので、知事の積極果敢な対応を強くお願いする。

## 【緊急要望項目】

### (新型コロナウイルス感染症対策)

- 1 ワクチン3回目接種の円滑実施支援と前倒し実施
- 2 保健所業務及び相談体制の強化
- 3 自宅療養対応の強化
- 4 抗原定性検査・PCR検査体制の強化
- 5 経口抗ウイルス薬の使用促進
- 6 社会機能の維持に向けた取組の強化
- 7 米軍岩国基地に対する県民の不安解消に向けた取組の実施

### (その他)

- 1 がん患者アピアランスケア推進事業の拡充（乳房補整具）
- 2 専門医の確保等
  - (1) 脳脊髄液減少症専門医の確保と治療環境の整備
  - (2) 化学物質過敏症患者の診断・治療専門医の確保